

(1992) ではインド洋のモルジブからの分布記録がある。しかし日本沿岸では本種は沖縄海域から記録されているにすぎない。

*Enneapterygius flavocipitis*

SHEN et WU, 1994

新称：エリマキヘビギンボ (Erimaki-Hebiginpo)

(第7図)

*Enneapterygius hemimelas* (non KNER and STEINDACHNER, 1867) : SHAO, CHEN & SHEN, 1992 : 314, (photo; Ken-Ting National Park, Taiwan).

*Enneapterygius flavocipitis* SHEN & WU, 1994 : 8, fig. 6, Tab. 2 (description; type loc. Ho-Bi-Hou, Lin-Chiu Isl., Taiwan), SPRINGER & ORRELL, 1996 : 26 (catalogue of paratypes in USNM).

*Enneapterygius flavocipitus* : BURGESS, 1996 : 48, fig.1 (photo from SHEN & WU, 1994; Taiwan).

材料：YCM - P29130 (1 個体, 雄, 体長 19.4 mm), 19930830, 鹿児島県大島郡瀬戸内町浜崎 (加計呂麻島), 奄美大島調査団採集 : KPM - NI4787 (1, 雄, 25.3 mm), 19980616, 沖縄県国東郡伊江村 (沖縄県伊江島), 野村智之。

参考標本：YCM - P34540 (1, 雄, 19.0 mm), 1990901, 鹿児島県大島郡瀬戸内町実久 (加計呂麻島), 相模湾海洋生物研究会 : YCM - P34295 (1, 雄, 26.4 mm), 19940829, YCM - P29131 (1, 雄, 17.1 mm), 19930830, 鹿児島県大島郡

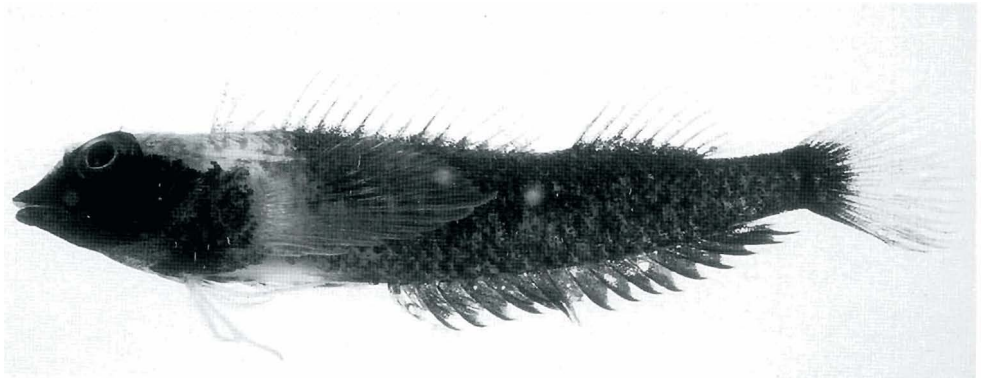
瀬戸内町浜崎 (加計呂麻島), 相模湾海洋生物研究会。

記載：第1背鰭3棘, 第2背鰭13~14棘, 第3背鰭10軟条, 臀鰭1棘18~19軟条, 胸鰭(分枝軟条+不分枝軟条) vii~viii+v~vi=13~14軟条, 腹鰭1棘2軟条, 尾鰭分節軟条数7+6, 側線鱗数(上部有孔側線鱗+下部欠刻側線鱗)16~17+17~19=34~35, 下顎感覚管の開孔3+1-2+3。

体長に対する各比較計数値は第1表に示した。

成魚は小型で, 採集標本での最大体長は26.4 mm。頭長は体長の27~31%を占める。眼は大きく, やや上部に位置する。両眼間隔域は狭い。側線は2列で, 上方の有孔側線鱗は主鰓蓋骨始部から始まり16~17枚, その最終鱗は第2背鰭第12~14棘付近下に達する。上方の有孔側線鱗から縦に1枚の鱗を隔てて下方の欠刻側線鱗が始まり, 尾柄後端までは17~19枚(欠刻側線鱗は有孔側線鱗の最終鱗部位より前方から始まることもある)。第1背鰭は他の背鰭より低い。第1棘が最長で, 前方に傾斜しない。第2背鰭は第3, 4棘が最長, 第3背鰭は第3~4軟条が最長で, 後は徐々に短くなる。臀鰭は第2背鰭の第6~7棘付近直下から始まり, 基底部は著しく長い。胸鰭の最長軟条の先端は臀鰭第6~7軟条付近上に達する。腹鰭基部は第1背鰭の起部よりもやや前方にあり, 肛門まで達しない。

生時の体色：頭部の地色は緑黄色。光彩は濃い橙赤色で強い金属光沢があり, 瞳は黒色。眼上皮弁は褐色。吻部先端から胸鰭基部・腹鰭基部にか



第7図 エリマキヘビギンボ *Enneapterygius flavocipitis*, KPM-NI4787, 雄, 体長25.3 mm.

けての頭部下側は黒色。第1背鰭の鰭膜は橙色で、第3棘の後方鰭膜上には不明瞭な黒色斑がある。第2背鰭の棘条は橙赤色、鰭膜は基部のみ黒色、その先は無色透明。第3背鰭の軟条は基部から約半分までが黒色、その先は無色透明、鰭膜は基部のみ黒色、その先は無色透明。胸鰭は無色透明。腹鰭の軟条は黄色、鰭膜は無色透明。臀鰭は黒色。尾鰭は基部から約半分が黒色で、その先は無色透明。第1背鰭と第2背鰭の始部の間から胸鰭基部の後方を通り腹部までに鞍掛状の黄色帯がある。第2背鰭第1棘付近下から尾柄部までは黒色。

固定後の体色：頭部と体の地色は淡い黄色。光彩は灰色。瞳は緑黄色。前鼻管基部は頭部の地色と同色。眼上皮弁は褐色。生鮮時の体色で説明した頭部下側の黒色域は褐色になる。各鰭の黒色域は褐色で残る。体側の黒色域は褐色となって残る。

雌雄差：雌雄差については未確認。

生息状況：採集場所は水深3mの浅海域で、FRICKE (1997) によれば水深0.3-22 mからの採集記録がある。

分布：奄美諸島加計呂麻島・沖縄諸島伊江島(本報)；台湾・フィリピン・インドネシア・チモール海・バブアニューギニア・バヌアツ・オーストラリア・ニューカレドニアの各諸島(FRICKE, 1997)。

備考：本種は、第1背鰭棘条長が第2背鰭棘条長より短いこと、眼上皮弁が細尖型をしていること、雄の体側部の第2背鰭第1棘基底付近から体後部全体(尾柄後端部まで)が黒色であること、臀鰭全体が黒色であること、下顎中央の開孔パターンが3+1~2+3であること、有孔側線鱗数が16以上であることなどの特徴により、同属の他種と区別できる。これまで日本沿岸域からの本種の分布記録は、沖縄県八重山郡石垣島(FRICKE, 1997) からだけであった。

*Enneapterygius rubicauda* SHEN et WU, 1994

新称：アカマダラヘビギンボ

(Akamadara-Hebiginpo)

(第8図 a, b)

*Tripterygion hemimelas* (non KNER and STEINDACHNER, 1867) : FOWLER, 1958 : 155 (description : Nan Wan/ Sanchan, Taiwan).

YAMAKAWA, 1979 : 36 (listed ; Nansei Isls).

*Enneapterygius hemimelas* (non KNER and

STEINDACHNER, 1867) : MYERS, 1989 : 204 (description in part : Ryukyu Isls.). SHEN ed., 1994 : 490 (description ; Taiwan).

*Enneapterygius* sp. 3 : SHAO et al., 1992 : 313 (photo : Ken-Ting, Kenting Natn. Park, Taiwan).

*Enneapterygius* sp. 4 : SHAO et al., 1992 : 314, (photo : Ken-Ting, Kenting Natn. Park, Taiwan). SHEN & WU, 1994 : 491 (description : Taiwan).

*Enneapterygius erythrosoma* SHEN & WU, 1994 : 7, fig. 5, tab. 2 (description base on type specimens : Wentz-Keng, Liu-Chiu/Liuchiu Isl., Pescadore Isls, Taiwan).

*Enneapterygius rubicauda* SHEN & WU, 1994 : 17, fig. 11 (description base on type specimens : Liu-Chiu/Liuchiu Isl., Taiwan)

材料：URM - P7023(2個体, 雄, 体長24.3-25.1 mm), 19820708, 沖縄県伊江島, 伊江村(伊江間)。

参考標本：*Enneapterygius rubicauda* ; YCM - P34087 (1, 雄, 体長23.0 mm), 19940827, 鹿児島県大島郡瀬戸内町須子茂離, 相模湾海洋生物研究会 ; URM - P2779(1, 雄, 28.2 mm), 19810505, 沖縄県チービミ。

*Enneapterygius* cf. *rubicauda* ; YCM-P29128 (1, 雌, 23.1 mm), 19930830, 鹿児島県大島郡瀬戸内町浜崎(加計呂麻島), 相模湾海洋生物研究会 ; YCM-P34641 (1, 雌, 24.5 mm), 19940902, 鹿児島県大島郡瀬戸内町管鈍(奄美大島), 奄美調査団 ; KPM-NI4803 (1, 雌, 15.2 mm), 19980616, 沖縄県国東郡伊江村(伊江島), 瀬能宏。

記載：第1背鰭3棘, 第2背鰭13棘, 第3背鰭10軟条, 臀鰭1棘19軟条, 胸鰭(分枝軟条+不分枝軟条) ii~iv+6~5+vi~vii=14~16軟条, 腹鰭1棘2軟条, 尾鰭分節軟条数7+6, 側線鱗数(上部有孔側線鱗+下部欠刻側線鱗) 17~18+18=35~36, 下顎感覚管の開孔4~6+1+4~5。

体長に対する各比較計数値は第1表に示した。採集標本での最大体長は25.1 mm。頭長は体長の29~32%を占める。前鼻孔は明瞭な管状で、上縁部は細長い苞状皮弁になって延長し、先端は不分枝。両眼の上縁中央には単一で細尖形の小さな眼上皮弁があり、先端は不分枝。吻長は眼窩径より短い。側線は2列で、上方の有孔側線鱗は主